

令和6年度 第1学年 音楽科 学習の指針（シラバス）

1. 学習の目的（教科の目標）

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにできるようにする。
- (2) 音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身につけ、創意工夫して表現できるようにする。
- (3) 多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く鑑賞する力を身につける。

2. 学習計画

学期	学習内容	学習のねらい
1 学期	①明るい歌声 ・「校歌」 ・全校合唱曲 ②混声合唱の喜び ・「朝の風に」 ・学年合唱曲 ③詩と音楽が一体となった美しさ ・〈鑑賞〉「魔王」 ◇歌唱テスト	・明るい表情でのびのびと歌えるようにする。 ・拍の流れを感じ取って、しっかりとした声で歌えるようにする。 ・歌詞の内容を理解し、思いを伝えるように歌えるようにする。 ・パートの役割や旋律の重なり方の特徴を感じ取って合唱できるようにする。 ・ハーモニーの楽しさを感じ取りながら、基礎的な表現の技能を身につける。 ・詩と音楽が一体となった歌曲の表現の豊かさを味わうことができる。 ・音の高さの変化に伴う、音楽の効果を感じ取って鑑賞する。 ・伴奏の効果を感じ取る。
2 学期	①合唱コンクール ・クラス曲 ・学年合唱曲 ・全校合唱曲 ◇歌唱テスト ◇定期テスト ②心の歌 ・「浜辺の歌」 ・「赤とんぼ」 ③いろいろな映画音楽 ・〈鑑賞〉「ジョーズのテーマ」 「E.T.」 「ジャイアントロボ」	・混声三部合唱曲の取り組みを通し、音程感や豊かな発声を身につける。 ・ハーモニーの美しさを感じ取り、基礎的な表現技能を身につける。 ・仲間と合唱する喜びを味わう。 ・日本歌曲の美しさに触れる。 ・詩の情景を想像しながら歌うことができる。 ・旋律の抑揚や詩の内容から強弱を工夫して歌うことができるようにする。 ・映画音楽を通し、音楽の効果を感じ取ることができる。 ・場面を想像しながら、いろいろな音楽を聴くことができる。 ・幅広いジャンルの音楽の楽しさ、喜びを味わう。

3 学 期	①合唱の喜び ・3年生を送る会に向けて ・卒業式に向けて ②日本の音楽の魅力 ・〈鑑賞〉雅楽「平調 越天楽」 ③日本の民謡とアジア諸国の音楽の多様性 ・〈鑑賞〉日本の民謡 ・〈鑑賞〉アジアの民族音楽 ◇歌唱テスト ◇定期テスト	・各声部の重なり合う美しさを感じ取り、仲間と合唱する喜びを感じ取る。 ・より美しい発声や、曲想の工夫をし、感情をこめて混声合唱曲に取り組む力をつける。 ・詩の内容に気持ちを乗せて、音楽を表現する。 ・それぞれの楽曲の歴史的背景や文化を知る。 ・使われている楽器とその特徴について知り、その良さや美しさを味わう。 ・日本の民謡とアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取ってその魅力を味わう。 ・それぞれの音楽の多様性について理解を深める。
-------------	--	---

3. 評 価

観 点	評価の内容	評価の方法
知識・技能	美しい発声、正しい音程、正確なリズム、良い口形で歌うことができ、表現の裏付けとなる記号や楽譜、楽曲の構成等を理解しているか。	・実技テスト ・活動の様子 ・定期テスト など
思考・判断・表現	楽曲の持つ特徴や、音楽の良さを感じ取ることができ、音楽を形づくっている要素や特徴をとらえてより良い表現を工夫しているか。	・実技テスト ・鑑賞ワークシート ・活動の様子 など
主体的に学習に取り組む態度	楽曲に対して関心を高め、音楽活動に意欲的に取り組み、精一杯努力しているか。	・学習態度 （チャイム着席・忘れ物、合唱活動や鑑賞活動への参加態度・提出物・観察） ・定期テスト ・ワークシート など

4. 「確かな学力」のためのアドバイス

(1) 表 現

- ① 範唱CD、先生の声、友達の声をよく聴いてまねて表現する。
- ② 失敗をおそれずに声をしっかりと出す。
- ③ 課題に積極的に取り組む。
- ④ 歌唱活動に積極的に参加する。
- ⑤ 学級での歌声活動にも一生懸命に取り組み、積み重ねを大事にする。

(2) 鑑 賞

- ① 題材をよく理解する。
- ② 聴く時のポイント（ねらい）を捉えて聴く。
- ③ 日頃から様々な音楽に関心を持つ。
- ④ 自分の好みに捉われず、音楽の良さを感じ取って聴く。